



静岡県

医療法人社団 豊栄会 きゅう眼科医院

地域のまなざしを守り続ける 駿河の伝統あるクリニック

JR静岡駅より徒歩10分。重厚なレンガ造りの外観が歴史の重みを感じさせる眼科
医院。クリニックというには規模感のある病院で、広い手術室や大病院並みの検査
機器を備えている。診療範囲も幅広く、結膜炎、ドライアイから緑内障、白内障、網膜
硝子体疾患、ロービジョンまでを中心に最新医療を届ける。



小林院長は、従来からのやり方にも柔軟に対応できる
やさしい性格。スタッフからも人気が高いのも頷ける。



院長・医学博士
小林 宏明



広々とした待合には大きな絵が飾られている。院内
で働くスタッフと共に。



目に関して、ある程度の広い領域をカバーできるよう
院内の設備も整えられている。



きゅう眼科医院の院長でありながら、順天堂大学病院
での診察・研究も続け、大忙しだ。

幅広い診療をカバーし
寄り添うドクター

藤波 駿河において、歴史と知名度
のある「きゅう眼科医院」の院長に就
任されましたが、いかがですか。

小林 2020年1月に就任いたし
ました。代々通われている患者様もい
らっしゃる中、普段とは異なる体制に
違和感を持たれることもあると思い
ますので、まずは、お一人お一人丁寧
にお話をしながら、ご信頼をいただける
よう診療にあたっています。

藤波 手術室や大病院並みの検査
機器といった設備も整っていますし、
クリニックとしては大規模ですね。
小林 地域医療の中核を担っていく
には、幅広い治療範囲をカバーする
必要があります。私の就任以前には
院長不在期間がありました。順天
堂大学眼科医局から交代で医師が訪
れ、きゅう眼科医院を支えて頂きま
した。

藤波 こちらはこういった目の病氣
が多いのですか。

小林 目に関する様々な疾患に対応
しています。緑内障は地域の特性なの
か、他よりも多い印象ですね。目を診
察すると言っても、内臓や血管など他
の異常も併せて発見できることもあ
ります。患者様の目から多くを読み
取ろうと努めています。

藤波 先生のご専門は。
小林 自身は網膜硝子体という目
の奥の領域を専門としています。今
も順天堂医院で週一度、加齢黄斑変性
の外来を担当しています。

藤波 なぜ、眼科という分野を選ば
れたのですか。
小林 分野としては専門性が高いこ
とが魅力です。一方、診療については結
果がはっきりする科目です。責任重大
かつ、だからこそ患者様に寄り添い良
い結果になるよう尽力する必要があります。
「見えた」と喜んでいただけ
ると、本当にうれしいですね。
藤波 これからも街の歴史ある眼科
を支えてください。

Column

片目ずつ目をつぶって周囲を眺めてみよ
う。片目が歪んで見えていませんか。両目
は補充し合う関係にあるので、片目の異
常は気づきにくいもの。先生の専門であ
る加齢黄斑変性は、対症療法しかないの
で、早期発見が最も大切とのこと。小林院
長は「注意を促すことが眼科医として重要
な役割です」と心にとめていた。ぜひ、あな
たもチェックしてみてください。

Dragon Point

大病院を行き来しながらの若い院長
だから考え方も柔軟で、情報もはやい。
安心して、駿河の眼差しを守ってもらえ
そうですね。



私も
診察

静岡県静岡市駿河区八幡2-3-9
TEL.054-284-0489
https://www.kyuganka.jp